

オルニトミムスのなかまは細身で、恐竜の中では走るのが最も速かったと考えられています。オルニトミムス「鳥」、ミムス「まねる、もどき」の意味で、ダチョウに似た姿から「ダチョウ恐竜」とも呼ばれています。ティラノサウルスのなかまや鳥へ進化していった恐竜と近い関係にあるグループです。白亜紀前期の原始的なオルニトミムスのなかまには歯が生えていて、もともとは肉食の動物だったと考えられますが、白亜紀後期に登場するオルニトミムスのなかまには歯が生えていません。北海道大学の小林快次博士は、胃石が保存されているシノオルニトミムス

恐竜時代への旅

第31話

オルニトミムスのなかま



DATA

御船層群から発見されたオルニトミムス類のかぎ爪の化石⑤とオルニトミムスの復元画④（絵／恐竜博物館・宮本厚子）

の化石を中国で発見し、その成果を1999年に公表しました。

御船層群上部層からも、このなかまのものと見られるかぎ爪と背骨の化石が見つかっています。かぎ爪の化石は富田優司さん（益城町）が田代地区座女木の近くで発見したもので、背骨は私が学生の時に天君ダムの上流で見つけたものです。今のところ見つかった化石は少ないですが、白亜紀の「御船」周辺では、ありふれた恐竜だったと考えられます。時にはティラノサウルスのなかまに追われながら、走り回っていたのかもれません。

（写真／恐竜博物館池上直樹）

子育て日記



長男・怜威くん（9歳・右）

長女・栞奈ちゃん（6歳・左）

たからもの

わが家の子どもは小学校4年生の息子と年長兄の娘の2人きょうだい。年が4つ離れていますが、超おませで負けず嫌いの栞奈はお兄ちゃんを怒らせてけんばかり。でも本当はすごく家族思いの優しい子どもたち。「うちは5人家族だよ」と愛犬「悟空」の事も忘れません。悟空と戯れる時は超仲良し♡そんな2人の姿を見て癒されています。怜威はもうすぐ10歳。甘えん坊からすっかりお兄ちゃんに…。何でもお手伝いしてくれる栞奈は来春小学校1年生。子育てする中で悩んだ時には「両親も悩みながら私を育ててくれたんだ」と思うと心が楽になると同時に感謝しきれない程の思いでいっぱいになります。私を育ててくれた両親、私を母として選んで生まれてきてくれた子どもたち。大切な「たからもの」です。

（文・写真／陣・槌田美紀お母さん）

Library Information

町立図書館 カルチャーセンター1F
☎ 282-0888 休館日／毎週月曜日

鍵のかかった部屋

貴志 祐介 著

防犯コンサルタント（本職は泥棒？）榎本と弁護士・純子のコンビが4つの超絶密室トリックに挑む。防犯探偵・榎本シリーズ待望の最新刊登場！



外科医 須磨久善

海堂 尊 著

世界的権威の心臓外科医はいかにして誕生したのか。旧弊な学界から若くして認められるため、どんな奇策をとったのか。現役医師にしか書けない、医師の秘密。



新刊書情報

10月は39冊の本が入りました

- 一般書（30冊）
 - 小説／おまえさん（上・下）（宮部みゆき 著）
 - 小説／四物語（西尾維新 著）
 - エッセイ／僕たちのヒーローはみんな在日だった（朴一 著）
- 児童書（9冊）
 - よみもの／みなまたの木（三枝三七子 著）
 - クイズ／なぞなぞあそび1～3（このみひかる 著）
 - よみもの／ベッキーのたんじょうび（ターシャ・テューダー 著）

おひさまがおかのこどもたち

エルサ・ベスコフ 作・絵
石井 登志子 訳

私たちの住む「おひさまがおか」へようこそ！子ども用の畑や野イチゴつみの秘密の場所もあるのよ。湖で水浴び、夏至のお祭り…。子どもたちの楽しい夏を詩情溢れる美しい絵で描いた絵本。



健康へのエント

インフルエンザを「うがい」で撃退



今年もインフルエンザの季節が近づいています。インフルエンザはウイルスによって発症する呼吸器系の病気です。毎年12月～3月頃に流行します。症状は風邪とよく似ていますが、38度以上の高熱や関節痛が特徴で、肺炎や気管支炎といった合併症を引き起こすこともあります。

インフルエンザ対策は日常生活での予防が大切です。主な対策には▽人ごみを避けて外出時はマスクを着用▽室内は適度な湿度50～60％を保つ▽手洗い、うがいの徹底▽十分な休養とバランスのとれた食事▽予防

接種）があげられます。

この予防の中でも、特に有効な対策は「うがい」です。口から侵入したインフルエンザウイルスは喉で増殖後、毒素を作ります。そのため外出後の「うがい」は、のどに付着したウイルスを洗い流すことが重要になってきます。

「うがい」の正しい方法は①水を口に含み唇を閉じて頬の筋肉を動かして口の中を洗う②上を向いて「オオオ」と声を出してのどを洗う③を数回繰り返してください。市販の「うがい薬」を使うとより効果的です。

インフルエンザのマナー

インフルエンザは発症してから3日～7日間は、ほかの人にうつす可能性が高いといわれています。人が多く集まる場所にはなるべく避けて、くしゃみや咳の症状がある時は、ハンカチで口元を覆うか、マスクを着用するなど、周囲へのマナーも心がけてください。

